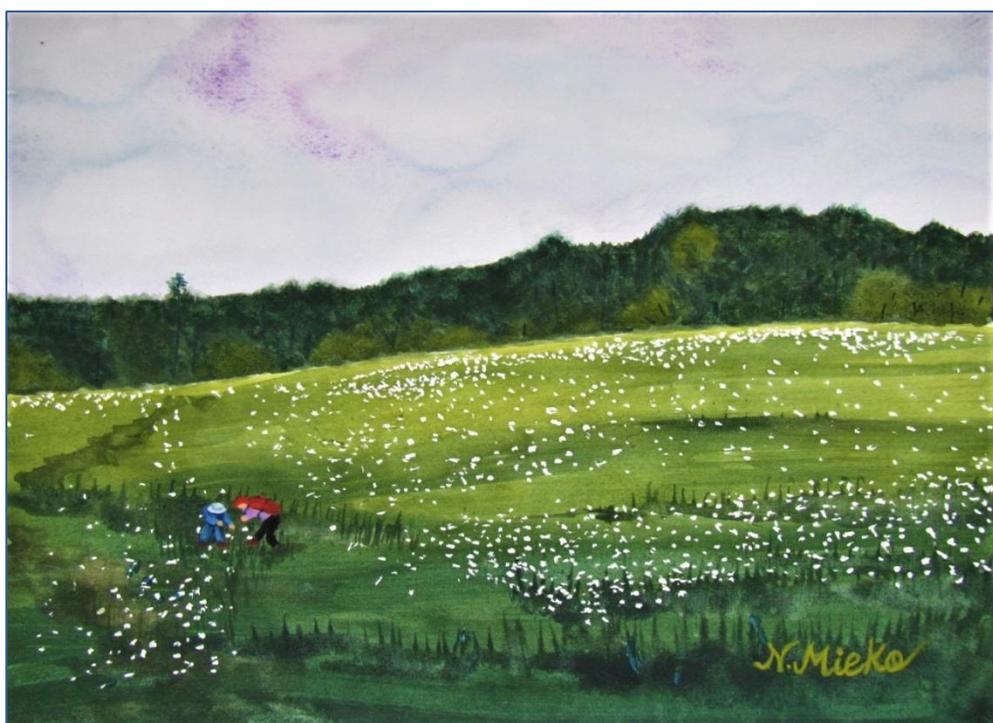


あかけら

No.357



2018. 8

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

8月号

も く じ

-
- 01 縦走路「2018年清掃登山」 岡 義博
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 07 運営委員会報告
08 事務局から
09 県連報告
10 専門部報告
●山行管理委員会 ●救助隊 ●教育遭対部 ●会報部
13 志向別グループからのお知らせ
◆岩手の名山歩こうかい&四季の山
14 行ってきました！
-
- ▲山行報告
15 奥多摩 軍刀利沢遊行 木村 一
17 天国の草原と地獄の灼熱の下山路が交差する沢旅 木村 一
20 大朝日岳 ～朝日鉱泉から周回～ 松田 希
22 全国一斉クリーンハイク 姫神山清掃登山に参加して
-
- 23 ある日ある時 “・・・だましの技術” 淡 望天
25 交流の広場



2018年清掃登山

毎年7月の第一日曜日が清掃日でしたが、今年は岩手山山開きと重なりましたので、7月22日（日曜日）に実施することになり、メール、Cメール等で会員に参加を呼び掛けて実施することができました、岩手山の天候は強風とガスで大変でしたが、今年も無事実施することができました。

内容は下記の通りです。

岩手山 参加者 20名 ゴミの量 12Kg

- ・柳沢コース : 奥ノ宮周辺清掃、参加 9名 ゴミの量 5kg
状況：ガスと強風
- ・焼け走りコース : 平笠不動避難小屋周辺の清掃とトイレ掃除、参加 5名
ゴミの量 5Kg 状況：ガスと強風
- ・御神坂コース : 不動小屋周辺の清掃、参加 3名 ゴミの量 2kg
状況：強風
- ・焼け走り宿泊 : 九合目小屋 参加 3名 状況：強風

姫神山 参加者 7名 ゴミの量 2Kg

- ・一本杉〜こわ坂 : 駐車場周辺、頂上周辺 参加 6名 ゴミの量 2kg
- ・田代コース : 頂上周辺 参加 1名

今回の岩手山の集合場所は奥ノ宮でしたが、悪天で集合できない場合もあるので、携帯連絡が取れない場合は各班の判断で下山するよう次回までに取り決めたいと思います。

自然保護部

部長 大森 信慈
代理 岡 義博

今後の日程 (2018/9/1～2018/10/4)

行 事		行 事	
9/1 土	8/27～9/2 No.279 松田幸久	18 火	
2 日	☆岩手山 (創立記念山行) ☆姫神山 (創立記念山行)	19 水	9/17～9/23 No.382 三浦明夫
3 月	↑	20 木	
4 火	☆県連理事会	21 金	
5 水	9/3～9/9 No.002 渡邊健治	22 土	
6 木	▲黒倉山 (スケッチ)	23 日	▲岩手山 (四季)
7 金		24 月	↑
8 土	▲秋田駒ヶ岳～乳頭山 (山行企画)	25 火	
9 日		26 水	◎9月例会(勤労福祉会館) 18:45～
10 月	↑	27 木	▲八幡平/草の湯 (ウィーク)
11 火		28 金	9/24～9/30 No.416 福山茂和
12 水	◎運営委員会(杜陵老人福祉センター) 18:45～	29 土	
13 木	9/10～9/16 No.234 古川 孝	30 日	▲見返峠～嶮岨森 (組織) ▲薬師岳 (山行企画) ▲三ツ石山 (名山)
14 金		10/1 月	×
15 土	▲牛形山 (ゆうゆう) ☆県連 県外遠征交流登山～17日	2 火	10/1～10/7 No.433 岡 義博
16 日	↓	3 水	
17 月	↑	4 木	

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。
090-4318-5128 (No. 19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m (2018年)			企画	山行企画部
実施日	9月2日(日)	地形図	大更 姥屋敷(1/25000)	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう。			
締切り	8月15日(水)	打ち合わせ	8月22日(水)例会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先:080-1842-3586 SMS可 佐々木善男 080-1842-3586 SMS可			

【山域/ルート】 姫神山 1123.8m (2018年)			企画	山行企画部
実施日	9月2日(日)	地形図	洪民(1/25000)	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう。			
締切り	8月15日(水)	打ち合わせ	8月22日(水)例会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先:080-1842-3586 SMS可 佐々木善男 080-1842-3586 SMS可			

【山域/ルート】 黒倉山			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	9月6日(木)	地形図	姥屋敷(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	リフトを使わずに下から登ります。			
締切り	8月30日(木)	打ち合わせ	9月3日(月) 18:30 おでつて2F	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 秋田駒ヶ岳から乳頭山へ縦走			企画	山行企画部
実施日	9月8日(土)	地形図	(1/25000)	
目的	秋の秋田駒を歩く			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	秋田駒ヶ岳8合目から乳頭山への縦走です。歩行時間が長いです。			
締切り	8月29日(水)	打ち合わせ	9月3日(月) おでって2F18:00~	
問合せ	連絡先:TEL No305 山田潔ショートメール又はPCメール 090-7073-8822			

【山域/ルート】 牛形山			企画	ゆうゆう
実施日	9月15日(土)	地形図	(1/25000)夏油温泉・三界山	
目的	夏油三山の一つを登る			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(雪期):★★	
コメント	下山後は夏油温泉でゆっくりします。			
締切り	9月8日(土)	打ち合わせ	9月10日(月) おでって2F18:30	
問合せ	連絡先:TEL 433 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 岩手山 松川コース			企画	四季の山
実施日	9月23日(日)	地形図	松川温泉、大更(1/25000)	
目的	岩手山七コースのうちの松川コースを登る。			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	松川温泉口から登り、姥倉山、鬼が城、山頂へと進みます。 なかなか利用しないコースを歩いてみましょう。			
締切り	9月14日(金)	打ち合わせ	9月18日(火) おでって2F 18:30	
問合せ	級木信子 連絡先:TEL 090-2844-9481			

【山域/ルート】 八幡平/草の湯			企画	ウィークデイクラブ
実施日	9月27日(木)	地形図	八幡平(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	八幡平頂上から草の湯を目指し、未整備の道を詰めてピストンします。			
締切り	9月12日(水)	打ち合わせ	9月18日(火) 18:30 例会時	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 見返峠から嶮岨森往復			企画	組織部
実施日	9月30日(日)	地形図	八幡平(1/25000)	
目的	フォローアップ山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	歩く距離は約14kmですが、累積の登りは約660mです。初級登山教室のフォローアップ山行として実施しますが、会員の方の参加も歓迎します。			
締切り	9月21日(金)	打ち合わせ	9月26日(水)例会時	
問合せ	福山 連絡先:TEL 090-7063-0788			

【山域/ルート】 薬師岳(1644.9m)			企画	山行企画部
実施日	9月30日(日)	地形図	早池峰山(1/25000)	
目的	秋の早池峰山を望む			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	小田越から登り、迫りくる早池峰山の紅葉を楽しみましょう。			
締切り	9月23日(日)	打ち合わせ	9月25日(火) 18:30 おでつて2F	
問合せ	府金 志磨子 連絡先:TEL 090-4637-2257 SMS可			

【山域/ルート】 ミツ石			企画	岩手の名山歩こう会
実施日	9月30日(日)	地形図	八幡平(1/25000)	
目的	紅葉を満喫する			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	松川温泉口より源太岳経由で周回します。			
締め切り	9月21日(金)	打ち合わせ	9月27日(木) おでつて 2F 18:30	
問合せ	石澤妙子 連絡先:TEL 019-625-0180 090-7560-6261			

あかげら9月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは9月9日(日)です。
 なお、フォーマットは会員専用 HP 左下の様式ダウンロードを御利用ください。



2018年度 第5回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：14/22名)2018.8.8(水)18:45～20:15 杜陵老人福祉センター

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小野寺 小田(嘉) 高橋(恵)
松田(幸) 千田 古川 山田(潔) 小川 渡部(彩) 松田(希)

【進行：中村(美) 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

天候が不順で中止になった山行が多いが、ヒヤリハットの報告はない。

2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況(8月8日現在)

会員数96名(男51名/女45名) 家族会員5名 会友6名 登山時報9月号 45部
新入会 No, 487 小野泉さん、No,488 中村由佳利さん

(2) 各専門部等の取組状況

- ① 救助隊…救助隊・支援隊名簿案提示、例会でも確認する。9/1(土)救助隊訓練予定
- ② 会報部…あかげら縦走路は、8月号＝自然保護部に、9月号＝山行企画部に依頼した。
- ③ 自然保護部…8/11 八方山(ヤマビル観察会)
- ④ 事務局…8/1(水) 新入会員オリエンテーションを実施した。新入会員5人参加。
- ⑤ 県連報告…別紙

(3) その他報告事項…なし

3 協議・承認事項

- (1) 「会員の手引き」について…たたき台をPDF版にして運営委員に送信するので、8月中旬に見てもらい、修正などあれば9月5日までに会長に知らせてほしい。9月の運営委員会で検討したい。
- (2) 会報部から…「あかげら」8月号の専門部のページは救助隊と教育遭対部が担当する。A4版の冊子は10月号からになる予定。
- (3) 会装備について…使用頻度の少ないもの、劣化したものの処分を検討する。
この結果をあかげらに掲載することに(「事務局から」に)。
- (4) HPの表紙ブログ版には、自然保護部のヒル観察会の様子を載せるよう依頼する。
- (5) 西日本豪雨災害カンパ現在23,708円あり、8月一杯募金し、県連とまとめてもらうことに。
- (6) あかげら冊子不要について…今まで冊子不要にしていた方で、やはり冊子必要と思われる方は事務局まで申し出てほしい。
- (7) 「会HPの作り替えと経費について」…提言があったが次回に検討することに。

第6回運営委員会は9月12日(水)杜陵老人福祉センターです

事務局から

☆ 会員動向（8/10 現在）

会員数 96 名（男 51 名／女 45 名） 登山時報 45 部 家族会員…5 名 会友…6 名
 新入会員 No, 487 小野泉さん、No,488 中村由佳利さん

☆ 会装備の処分について

8 月運営委員会で検討して、下記の備品を処分することになりました。

テント ③	エスパースⅡセット4～5人用(ポール／ペグ) 4.5kg	1
テント ④	エスパースⅡセット4～5人用(ポール／ペグ) 4.5kg	1
テント ①	ダンロップ8人用(フライ／ポール／ペグ) 6.7kg (外張り雨漏り)	1
テントマット	⑪～⑭ 銀マット(薄い 穴有 折目破損)	4
コッヘル ③	ナベ3、フライパン、ヤカン、シャモジ、ヘラ	1
コッヘル ⑥	ナベ3、フライパン、ヤカン、シャモジ、ヘラ	1
コッヘル ⑤	ナベ3、フライパン、ヤカン、シャモジ、ヘラ	1
GPS	10m標高差組込用 DVD 付(使用时地図を読み込む必要あり)	1

希望者には無料でお分けします。ただし処分品は劣化したもの、完全でないものもありますので個人の責任でご使用願います。下記により申し込みを受付けます。

1 申し込み先 方法

385 小田嘉洋 mail でのみ受付。 syr3535zz@gmail.com 8 月 31 日締切

2 mail の内容

“ 申込者会員 NO・名前・ 備品 NO・備品名・数量 ” をもれなく記入願います

3 申し込み多数の備品は次回運営委員会の中で、抽選します。

処分品当選者は運営委員会の中で周知し、本人にも周知します。

4 処分品の引き渡しは、可能な限り速やかに行い、遅くとも 9 月例会の中で終了します。

☆ 当面の予定

9 月 2 日(日) 会創立記念山行 (岩手山・姫神山)	9 月 12 日(水) 第 6 回運営委員会 (杜陵老人福祉センター)
9 月 4 日(火) 県連理事会	9 月 26 日(水) 9 月例会(勤労福祉会館)

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4 月／10 月	教育遭対部	5 月／11 月	山行企画部	6 月／12 月	会報部
7 月／1 月	組織部	8 月／2 月	事務局	9 月／3 月	自然保護部

本日の例会・会場担当は 事務局です

2018年度 第5回県連理事会報告

2018.8.7 (火) 19:00～花巻市学園都市会館室

出席：渡邊健治、千田勝利

1 報告事項

- (1) お花観賞山行 (7/5(木) 秋田駒ヶ岳) 悪天候予報のため中止
- (2) 沖縄 花いかだの会との交流山行 (7/9-12)
7/10(火) 早池峰登山 沖縄9名・全国連盟4名・岩手県連11名 合計24名
7/11(水) 岩手山登山 沖縄9名・全国連盟2名・岩手県連4名 合計15名
*9:00～駅前通り「じょ居」で夕食交流会
※ 花いかだの会から謝礼あり。2万円を県連財政に収め、今後の他県連との交流行事の際の財源とする。
- (3) その他
・平出和也さんの講演会 10/12(金)18:30～モスビル(5F)
ICI石井スポーツ主催 入場無料

2 協議事項

- (1) 県連県外遠征山行について 9/15(土)-17(月) 福島
9/15(土) 7:00松園発-盛岡IC-東北道-被災地視察-夕鶴(交流会)
9/16(日) 8:00宿発-不動沢-五色沼-一切経山-浄土平-15:30吾妻小屋(泊) 歩行:5時間
9/17(月) 8:00小屋発-野地温泉9:00-鬼面山-箕輪山-鉄山-安達太良山-薬師平-ゴンドラ-奥岳温泉(入浴)⇒20:30松園 歩行:5時間
*参加希望が20名を超えたので小型バスで実施することに決定。
*25名以上になったときは大型バスとする。
- (2) 県連セルフレスキュー訓練 9/8(土)12:00～9(日)15:00
9/8(土) 区界高原ウォーキングセンター集合
How to テント泊、ビバークに必要なツェルトの張り方
実践ビバーク訓練、夕食交流会:兜山荘
9/9(日) 区界少年の家に移動 救急救命講習、レスキューロープワーク
*参加〆切は8月末とする。参加者は田中理事がメールで集約。
- (3) クライミングレスキュー技術講習会 9/29(土)～30(日)
9/29(土) 大迫体育館で基礎練習 戸塚森森林公園バンガローで宿泊
9/30(日) 展勝地岩場で実技訓練 *雨天の場合は大迫体育館
*開催要項をメールで各会に配信し参加集約、見学だけでも可。
- (4) 全国登山研究集会 11/23(土)-23(日) 愛知県
積極的に参加するとともに、県連として活動報告のレポートを1件は出して欲しい。(〆切9/30)
- (5) その他
①第21回全国ハイキング交流集会 9/15～16 静岡県・伊豆長岡温泉
②ホームページ開設支援講習について
県連としては取り組まないが、仙台などで開催されたら参加したい。
③西日本豪雨災害支援募金について
8月末まで各会で取り組み県連としてまとめて振り込みする。

専門部報告

●山行管理委員会

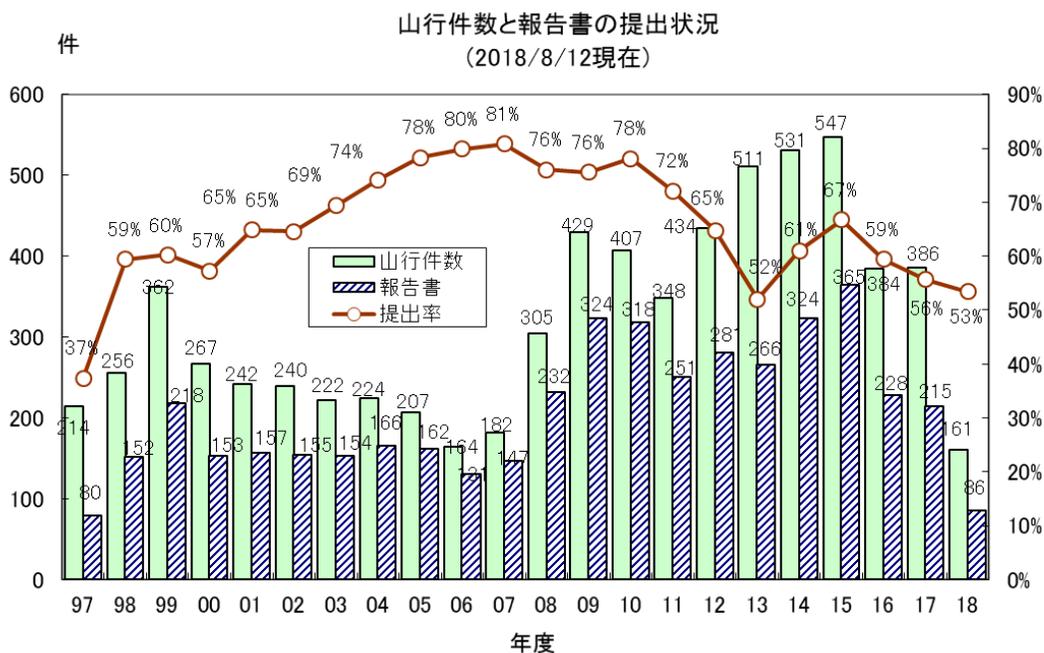
【お願い】山行報告書の提出について

山行報告書は、トレーニングで計画書を省略した場合で事故・ヒヤリハットがなかった場合を除き、下山後10日以内に提出する決まりです。

全体の提出率は、8月12日現在で53%（会山行77%）に留まっており、ここ数年で最も低いレベルとなっています。提出された報告書は、会にとって貴重な財産であり、会員専用HPでも閲覧できるようにしています。

特に、事故やヒヤリハットの情報は、会員が同じ失敗をしないために重要な意味を持っています。

山行リーダーには、下山後、記憶が新しい内に報告書を作成し、早めに提出されるようお願いします。



● 救助隊

・救助隊訓練

9月1日(土) 8:00~15:00 姫神山の一本杉キャンプ場

けが人の搬出、応急手当の訓練を行います

救助隊に登録されている方、参加よろしくお願ひします

● 教育遭対部

・救急法・普通救命講習

午前は消防署に依頼し、普通救命講習

午後は会の救急パックの使い方、骨折の固定方法、大量出血の対応などを行います

過去3年救命講習会受講していない方は受講してください

日 時： 10月28日(日) 9:30~16:00

場 所： 杜陵老人福祉センター

申し込み： 378 高橋英里子 080-3327-3448 (SMSまたはメールで)

締め切り： 10月14日(月)

・冬山入門講座 座学

冬山登山に向けての注意点、低体温症・凍傷を防ぐ方法、必要な装備などの講習

今シーズンから冬山登山や山スキーを始める方は受講しましょう

日 時： 10月31日(水) PM6:30~8:30

場 所： 勤労福祉会館

申し込み： 279 松田幸久 090-1374-2367 (SMS可)

締め切り： 10月27日(土)

・冬山入門講座 実技

岩手山の4合目から5合目でピッケル・アイゼンの訓練を行います

日 時： 11月18日(日)

場 所： 岩手山馬返しコース

申し込み： 279 松田幸久 090-1374-2367

締め切り： 11月10日(土)

打ち合せ： 11月15日(木) PM6:30 おでって

● 会報部

「あかげら」10月号よりA4サイズへ変わります！(^^)!

いよいよ「あかげら」も10月号（発行日10月24日）よりA4サイズに変わります。それに合わせて、会員の皆さんからの原稿サイズの変更をお願い致します。原稿の送付先は今まで通りです。不明な点は、会報部までお問い合わせください。

◎10月号の原稿締切り 10月6日（土）

※手書き原稿の場合は、2日前までとします。

■用紙サイズ：B5→A4へ変更

■余白設定：上・下は25mm 左・右は20mmへ変更（山友と同じ）

■本文のフォント：10～12ポイント、明朝体またはゴシック体

※編集作業中に文字化けする可能性がありますのでフォントは守ってください。

山行報告は上記に加えて、編集の都合上ページ数を、必ず1ページ

または2ページでお願い致します。きっちり1ページまたは2ページにならない場合は、写真やイラストカットを入れたり、改行をしたりと調整をして原稿をまとめてから送ってください。



志向別グループからのお知らせ

◆ 岩手の名山歩こうかい&四季の山

「岩手の名山歩こうかい」と「四季の山」の11月から4月までの山行を話し合います。行って見たい山を話し合いながら、一緒に企画しましょう。

日時 9月6日(木) 18時30分～
場所 杜陵老人福祉センター(みかわや生姜館の裏)

原稿のお願い

9.27月号の原稿締め切り

◎ 9月8日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10～12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

行ってきました!

[7月17日～8月18日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	7月18日	旭岳	層雲峡口ロープウェイ～旭岳～姿見口ロープウェイ	お花の鑑賞と縦走	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
2	7月19日	雨竜沼淵原	南署寒荘～雨竜沼淵原散策	お花鑑賞	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
3	7月19日	裏岩手(源太ヶ岳・三ツ石山)	松川温泉～三ツ石山～源太ヶ岳～松川温泉	トレーニング	L福山	1	個人
4	7月19日	焼山	御所掛け温泉～焼山～ヘコ谷地口	心のスケッチ(周回コースの確認)	L工藤(敬)・S中村(美)・石澤・日比野・小田(嘉)・北田・本間(典)・小田(春)	8	志向別G
5	7月21日～7月22日	岩手山	焼走り口～山頂～上坊口	小屋泊まりをして清掃登山に合流する	L工藤(敬)・S中村(美)・日比野	3	志向別G
6	7月21日～7月22日	鳥海山	鉾立コース	影鳥海を観る	高橋(英)〔会員外〕3名	1	個人
7	7月21日～7月25日	北アルプス(乗鞍岳・笠ヶ岳・焼岳)	豊平～乗鞍岳往復、新穂高温泉～双六小屋～笠ヶ岳～新穂高温泉、中ノ湯～焼岳往復	北アルプスに登る	L山田(潔)〔会員外〕1名	1	個人
8	7月22日	姫神山	一本杉口～山頂～こわ坂口	清掃登山(全国一斉クリーンハイク)	L岡(義)・S千田(勝)・山崎(祐)・渡部(彩)・府金(志)・亀田(金)	6	会
9	7月22日	岩手山	御神坂コース	清掃登山(全国一斉クリーンハイク)	L渡邊(健)・S舟越・小原(耕)	3	会
10	7月22日	岩手山	焼走りコース	清掃登山(全国一斉クリーンハイク)	L熊谷(久)・S大倉・佐々木(善)・山口・竹田(真)	5	会
11	7月22日	岩手山	柳沢コース	清掃登山(全国一斉クリーンハイク)	L小田(嘉)・S遠藤(千)・S古川・加藤(桂)・菊地(広)・菊地(良)・小田(春)・三戸・内堀	9	会
12	7月22日	姫神山	田代コース	清掃登山(全国一斉クリーンハイク)	L川村(雅)	1	個人
13	7月23日	八幡平	黒谷地～山頂～見返り峠	八幡平で初めてのハイキング体験	L高橋(英)〔会員外〕2名	1	個人
14	7月26日	早池峰	小田越コース	トレーニング	L福山	1	個人
15	7月28日	秋田駒ヶ岳	秋田八合目～男女岳～ムーミン谷～横岳～焼森～八合目	同級生の恒例登山	L古川〔会員外〕8名	1	個人
16	7月29日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人
17	7月29日	岩手山	網張～山頂～御神坂	トレーニング	L久保〔会員外〕2名	1	個人
18	7月29日	白岩岳(1,177m)	入角林道口～白岩岳～白岩薬師往復		L本間(典)・S千田(勝)・工藤(敬)・熊谷(久)・級木	5	個人
19	7月30日～8月1日	南アルプス(悪沢岳・赤石岳)	榎島～悪沢岳～赤石岳～榎島	南アルプスの日本百名山に座に登る	L日比野・S小田(嘉)・小田(春)・大倉	4	個人
20	7月31日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L福山	1	個人
21	7月31日	東根山	猫の背コース～山頂～蛇石コース	平日山行を楽しむ	L工藤(敬)・S石澤・中村(美)・北田・級木・本間(典)・佐々木(善)	7	志向別G
22	8月2日	秋田駒ヶ岳	国見温泉～ムーミン谷～男岳～横長根～国見温泉	心のスケッチ	L工藤(敬)・S中村(美)・北田・畑中	4	志向別G
23	8月4日	早池峰	岳～鶏頭山～早池峰～小田越	単独行	L舟越	1	個人
24	8月4日	秋田駒ヶ岳	国見温泉～横長根～五百羅漢～男岳～女目岳～横岳～国見温泉	秋田駒へ周回	L小原(耕)	1	個人
25	8月10日～8月12日	裏岩手(八幡平～岩手山)	藤七温泉～三ツ石山～鬼ヶ城～岩手山～御神坂	単独行	L舟越	1	個人
26	8月11日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人
27	8月11日	八方山	長根崎口～山頂往復	ヤマビル観察会	L岡(義)・S五嶋・中村(美)・遠藤(千)・工藤(敬)・日比野・北田・級木・本間(典)・大倉	10	会
28	8月12日	葛根田川支流 松沢	滝ノ上温泉～入溪～栗木ヶ原～山道～滝ノ上温泉	沢を行く	L松田(幸)・S松田(希)・小野寺(健)・高橋(英)〔会員外〕2名	4	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容ください



奥多摩 軍刀利沢遡行

No.350 木村 一

2018年6月30日(土曜日) 天候 : 快晴

メンバー: CL 木村 一 他 5 名(会員外)

矢川林道駐車場所 7:45～軍刀利沢入口 8:00 分～稜線(三国峠50分)脇 11:00～矢川林道着

12:30～林道駐車場所 13:00

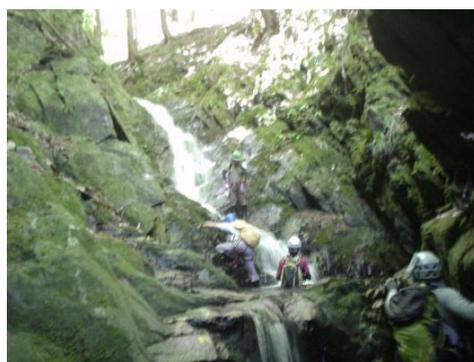


梅雨空の様子を見ながら、今年の沢始めはどこにやるか思案した結果、行程は短い沢登りの楽しさが一杯に詰まった奥多摩の軍刀利沢にした。

なんと前日に関東地方が梅雨明けになり、沢登りに最適な季節到来になってきたので、今日は積極的に水に親しんで遡行したい日和だ。

矢沢林道の奥では森林伐採作業をしているので、作業車の通行に支障が無いように、矢沢林道の路肩空き地に駐車し、沢装備を身に着けて出発。

軍刀利沢の入口は分かり難く、うっかりすると見落とししてしまいそうな感じのところだが、出合い対岸の木に赤テープが巻かれていたので迷う事無く入溪できた。



水量が少ない感じはするが入溪して直ぐにミニゴルジュ出現。ここは積極的に水中突破。更に進むと3mと4mの2条滝が出てくるが、緑色が映えて何とも美しい。



どちらの滝も直登が可能で楽しい滝登りが出来る。

逆くの字滝 5m は左から登り、続く状ナメ状の滝を快適に登ると、2段 10m の滝が現れてくるが、ここは右から巻き、続くナメ滝を快適に越していく。5m滝はシャワークライミングで登り、上部は流水の中の木をホールドにして登れるので快適なシャワークライミングを楽しむ事が出来る。次々と現れてくるナメ滝等を快適に越していくと目の前に10m滝が現れてくるが右から巻いて越すと滝場が終わり、ここで大休止。

近くの倒木にキノコが出ていたので“ウスヒラタケ”と思って採って持ち帰ったが、実際は“ハチノスタケ”だった。キノコ自体は不味かったが良い出汁が取れた。

ここからはチェックストーン滝、涸滝を越すと水流もなくなり、藪漕ぎもなく三国峠に出た。

下山は地図にない仕事道を下降して矢沢林道に出た。帰路、温泉で入浴後帰宅。

夏の暑い日は沢登りに限る。





天国の草原と地獄の灼熱の下山路が交差する沢旅

(東黒沢遡行～ウツボギ沢下降～ナルミズ沢遡行)

No.350 木村 一

2018年7月14日(土曜日)～7月15日(日)

天候 : 快晴

メンバー: CL 木村 一 他 2 名(会員外)

1日目:白毛門登山口(5:45)～白毛門沢出合(6:37)～二俣(8:56)～鞍部(10:12)～ウツボギ沢出合(12:06)～大石沢出合(14:05)

2日目:大石沢出合(5:45)～魚止めの滝(6:51)～二俣(7:25)～稜線踏み跡(9:15)～ジャンクションピーク(11:58)～朝日岳山頂(12:20)～笠ヶ岳山頂(14:55)～白毛門山頂(16:16)～白毛門登山口(19:00)



今回は7月の3連休の中の2日間を利用して、谷川岳の東黒沢を遡行して、白毛門岳のウツボギ沢の支流を下降し、ウツボギ沢からナルミズ沢を遡行し、天国に続く美しい草原を詰める計画。

下山路は地獄の下山路と称される谷川連峰の馬蹄形縦走路を経て白毛門からの下山予定。

右岸の踏み跡を進んで東黒沢へ入渓。ハナゲノ滝は左側のスラブを快適に登る。東黒沢はナメ中心の沢で想像していた以上に気持ちいい。ナメ床が苔の影響で少し滑りやすいのが玉にキズ? 二俣は右に進み、途中の小滝も問題なく通過し鞍部に到着。10:12

鞍部で小休止している間に周辺を偵察したが、

明瞭な踏み跡や赤布などは見つからなか



った。しかし登ってきた方向と反対の方角へあまり考えず下っていけば、自然とウツボギ沢へ向かう支沢に行きあたる。ウツボギ沢には小滝はあるがロープは出さずに降りることは可能である。ウツボギ沢に出て少し下るとナルミズ沢に合流する。ウツボギ沢出合いの幕営地はきっちり整地してあって快適そうだが、増水すると高台に逃げるところがないので天候が芳しくない時には要注意だ。まだ 12 時前なので大石沢の先まで進みビバークしたいところだ。



水に浸かりながらがががん進む。途中の 7m 滝は左岸の明瞭な踏み跡を巻き、大石沢の出合に 14 時頃到着。ここでまさかの雪渓が出現。

協議の結果今日はここで 1 泊することに。ターフを張り焚火をしてビールを飲みながらノンビリ過ごす。続々と他のパーティがやって来て、ここでビバークしたのは我々を含めて 6 組。上部に雪渓があるから

冷気がすごい勢いでやってくるので寒く、シュラフカバーでは快眠できなかった。

翌朝は 4 時 3 分に起床して朝食後 5:45 に準備が整い行動開始。大石沢の出合にかかる雪渓はまだしっかりしていた。意外にも雪渓はすぐに終わってしまい、その先はしばらく沢通しに進む。S 字状ゴルジュの手前の雪渓は右岸と雪渓の縁を進んで通過。S 字状ゴルジュは見るからに水が冷たそうなので、左岸の巻き道躊躇なく選ぶ。



ゴルジュを抜けた先は雪渓で沢は埋まっているが、所々割れていてブリッジ状のところを慎重に越して一安心。雪渓の厚そうなところを慎重に進むと、魚止めの滝は完全に雪渓の下。スノーブリッジが安全に渡れるか否か？又は雪渓脇の草付を巻くのか？2 日目は雪渓の処理がキーポイント。更に雪渓を進み



二俣に到着。地蔵ノ頭の下部のスラブ帯に圧倒される。

小休止の後右股の入り、途中に傾斜のある滝が出現。一見立っているように見えるが、ホールドはしっかりあって水流左を快適に登れる。トイ状の滝の辺りから登れそうなところを左の稜線の方向へ詰めて行く。

照り付ける太陽の下、天国に続く美しい草原の中を登り、9:15に稜線の踏み跡に

到着。ここから先が長い地獄の下山路の始まり。ジャンクションピークまでは笹藪の中に踏み跡があり、途中ナイフリッジ等を越しながら最低鞍部到着。最後の笹藪を登り、ニッコウキスゲの花畑を横目にジャンクションピークを目指していくが何しろ暑い。休憩をうまく挟まないと熱中症になりそうだ。

ジャンクションピークに12:00到着。問題はここからの灼熱地獄の縦走路。朝日岳を越して笠ヶ岳直下ではニッコウキスゲ群生地の中を横切り、更にちょっとしたアクシデントに遭遇しながら、誰もいない白毛門の頂上に到着(16:16)。ここからは下降あるのみだが、白毛門の下降路は急斜面の連続。白毛門沢に降り立ったのが19:00。長い1日が終わった。





大朝日岳 ～朝日鉱泉から周回～

No. 294 松田 希

日程 2018年7月14日(土)～16日(月)
メンバー 松田幸久(C L), 久保加世子(会計), 会員外1名(S L), 松田希(食当)
行程 14日: 盛岡発 10:00 朝日鉱泉着 15:10
15日: 朝日鉱泉 6:20 鳥原小屋 10:15-10:40 鳥原山 11:10
小朝日岳 12:50-13:10 銀玉水 14:30 大朝日小屋 15:10
16日: 大朝日小屋 6:30 大朝日岳 6:40 平岩山 7:50
御影森山 9:55 上倉の大クロベ 11:45 上倉山 12:10
朝日鉱泉 14:10

今回で2回目の大朝日岳は念願の朝日鉱泉から。登りは鳥原山経由、下りは御影森山コースとした。登山口に確実に駐車できるように、これまた念願であった朝日鉱泉ナチュラルリストの家に前泊することにした。道中、そば好きの久保さんの提案で、大石田町のそば街道にて美味しい板そばを食べた。朝日鉱泉が近くなると所々未舗装となり、対向車が来ると待避所までバックしなければならないところもあった。

朝日鉱泉ナチュラルリストの家の部屋からは、はるか遠くに大朝日岳が見えた。夕食まで待ちきれずに落ち着いた雰囲気のレストランで生ビールを飲んで楽しいひとときを過ごす。女湯は定員二人程度で狭いのが残念だったが、夕食は岩魚のマリネ、豆腐のきのこあんかけ、山菜いろいろ…と山ならではのメニューを楽しんだ。明日は山頂でも30℃になりそうなので4時か5時には出発の方がよいと宿の方に言われたが、十分な睡眠とおいしい野菜たっぷりの朝食を食べてから出発することとした。朝起きてみると私達以外はお弁当を作ってもらい、すでに出発していた。



予報通り天気は最高! 歩き始めて間もなく吊り橋を渡る。私はこれが怖く、山中通しての核心であった。蒸し蒸しとする樹林帯の急登を進み、2時間程歩いて金山沢を渡渉する。

そこからさらに1時間半ほどで水洗トイレのある鳥原小屋に到着。小屋に入ると小屋番さんが大の字で横になっていて、暑い中での刈り払いの休憩中だった。今日は大朝日の小屋に泊まると話すと、「大朝日の小屋は混んでいてトイレも臭いから荷物をデポして山頂まで登ってから戻っておいで。」と言う(笑)。前回大朝日小屋に泊まった時を思い出すとその通りだったので、それもいいかな…と思ってしまうが、明日の御影森山コースを歩いてみたいのでそうもいかない。今度は白滝コース(秋のぶな林がきれいらしい)から登って、空いているきれいな鳥原小屋泊まりをするののいいな、と思いつながら出発する。

ここから樹林帯をぬけたので日差しを強く浴びる。小朝日岳に登る道はかなり急である。ロープが設置されているところもあり、片斜面だったり、すべりやすい砂の足元だったり歩きづらく、近いようになかなか着かなかつた。小朝日岳山頂に着くと、大朝日までの雄大な景色が素晴らしかった。



古寺鉱泉への分岐を過ぎると登山者が多くなる。古寺鉱泉からが一番メジャーなルートであることが窺える。大朝日岳に近づくにつれて、包容力のある山であることに感動。途中銀玉水で水を汲み、大朝日小屋に無事到着。

小屋の中に入ると混んでいて、4人でまとまって泊まれるスペースをとるのは難しいようで、小屋番さんがテントを貸してくれると言う。混んでいる小屋泊よりテントの方がいいので、ラッキー!! テントを自分たちで設営し、テント脇でご飯を炊き、夕食の豚角煮丼ときゅうりの塩昆布和えとみそ汁を作る。日が暮れると前夜泊まった朝日鉱泉の宿の灯りが遠くにポツンと見えた。一晩中風が強く、朝起きるとペグが2本飛ばされていた。朝食は前夜炊いたご飯を使ったトマトリゾットとフリーズドライスープとミカン。飛ばさないようにテントを撤収し、ガスの中出発する。

10分程で何も見えない山頂に到着。大朝日岳初登頂の久保さんは昨日の夕方晴れているうちに山頂を踏んでいてよかった。南側の山塊を眺めるのが楽しみだった御影森山コースは、残念ながらたまたま雲が切れて見えるくらいだった。もう少し時期が早ければ、なかなかのお花畑コースであったとも思う。上倉山手前の日本一の大クロベは登山道から250m程下がったところにあるが、一見の価値あり。手前に少し大きいクロベがあり、それが大クロベだと思って引き返す人がいるようなので注意である。

上倉山を過ぎ、大朝日川本流へと下る道は本当に急だった。大朝日岳はどこから登っても簡単には登らせてくれないとつくづく感じた。御影森山コースから下りると昨日渡った吊り橋の手前にもうひとつ吊り橋があった(泣)。

朝日鉱泉に到着して、ふたたび温泉で汗を流してからオーナーの息子さんの手打ちそばを食べる。すっかり朝日鉱泉ナチュラルリストの家を堪能し、楽しく充実した山行を終えた。



朝日連峰はつくづく愛されている山だと感じる。登山道は刈り払われ、小屋の管理は朝日町、大江町、西川町の山岳会などがそれぞれ請け負っている。今度は竜門小屋に泊まってみたい、泡滝ダムから朝日鉱泉までの縦走をしてみたい、カッコいい障子ヶ岳を眺めてみたい…等々、行ってきたばかりなのにまた行きたいと思わせる山域である。

全国一斉クリーンハイク 姫神山清掃登山に参加して

345 山崎 祐三

姫神山には度々登山はしているが、ゴミについて気を付けて登った思いは無い。それを清掃登山という目標に絞ると以外にも登る道筋にゴミが落ちている事に気が付く。頂上付近には量的に少ないが1センチ程度のガラス破片が多く落ちている。いずれ清掃登山に参加する事によって同伴者に誘われれば少量でも拾うことが出来ました、今後も清掃登山に継続参加したい。

357 渡部 彩子

「平成最後の清掃登山で、だいぶ古い空き缶を回収してきました。少しでも負の遺産（ゴミ）を減らし、今日出会った多くの子供たちが、大きくなっても変わらない、ふるさとの山であってほしいと思いました。参加して下さったみなさん、来年も頑張りましょう、ありがとうございました。」

365 府金 志磨子

登山道や山頂にもゴミは少なく、飴の包み紙やおにぎりのアルミ箔などでした。ただ、少ないとはいえ土に還るものではなく、積もり積もれば環境破壊につながります。昨今プラスチックゴミが世界的に騒がれており、海でも山でも地球環境を取り戻す取り組みは待ったなしです。会としても清掃登山を今後も継続し、「ふるさとの山の美しさやありがたさ」を残していきましょう。

433 岡 義博

駐車場や登山道は、飴の袋やタバコのフィルターなどのゴミがありましたが少量でした。頂上付近は古い空き缶が土に埋もれており、最近の缶ではなさそうでしたので、今は持ち帰っている人が多いのかもしれませんが。当たり前なのですが、いい傾向だと思います。日本にふさわしい、きれいな山をこれからも維持していけるよう到来年も清掃活動を頑張りましょう。



“・・・だましの技術”

今年は猛暑騒ぎの年だ。キュウリ、ナス、トマトの生育もよい、となるはずだった。ところが、てんとう虫被害の夏にもなった。ナス、キュウリの被害が大きく、トマトも下葉の方は枯れてしまった。てんとう虫は益虫だから、害虫となっているのは、もちろんてんとう虫<だまし>のほうだ。自分用の野菜だから、無農薬、無（化学）肥料にしている。というか、草取りぐらいだけして、あとは放っておくというずぼらな農園なのだ。しかし、ナス、キュウリの葉がなくなるほどの異常なてんとう虫の攻撃。これはなんとかしなければ。かんたんなのは殺虫剤を買うこと。しかし、これでは、毒の着いたトマトやキュウリを食べることになる。天に唾するようなもの。てんとう虫を叩き落して殺す。地面に落ちた虫を足でつぶす。殺人ならぬ、これも殺虫だ。自分が育てようとしているものに害をもたらす虫なのだから殺されても仕方がない。暇があれば、ばっさばっさと虫を踏み潰す。ナス、トマトもそれぞれ4, 5本しか植えてない。手作業で退治できる。やる気になれば、問題はない。とはいえ、自分の利害に関わるからといって、相手をむやみやたらと殺すのはちょっと気が引けてしまう。葉から落として、追い払うだけの時もある。落としたり踏む虫を足で踏みつぶすのはその時の気分次第だ。

トレッキングの案内人に、ラクパさんというシェルパ族の人がいる。エベレスト登頂のシェルパとして、登頂したこともある。もっとも二度と登りたくないとも言っていた。その彼は決して虫を殺さないそうだ。日本にも来たとのこと。日本には蚊や蠅がたくさんいる。蚊が腕に止まれば、私などはたちどころにバチンと殺してしまう。ところが、シェルパ族の人たちは虫から逃げるのだそうだ。殺生を禁ずるとするのは確かに宗教的な教えでもあるが、わたしなどはそのへんはいいかげんだ。この世で悪業を働いた人は、生まれ変わった時には虫けらになるという脅し的な考えはもう古い。とは思うものの、むやみに殺生を犯すこともあるまい。と考えると、害虫であるてんとう虫だましも、生きるために葉を食べているにすぎない。<害>を与えるという<意志>はないのだ。殺人罪になるかならないかは、殺す意志があったかどうかで争われる。てんとう虫だましには殺<葉>罪は適用できない。シェルパ族の人たちほどの信仰心はないけど、むやみに殺生するのはなんとなく気が引ける。そういう時は、葉から虫を落とすだけにする。もちろん、彼らには羽がある。また飛んで行って葉を食う。これでは堂々巡りだ。虫被害によってナスやキュウリが全滅になるわけでもない。その時の気分によって、落としたりてんとう虫をそのまま放置したり、足で踏み潰したりする。

てんとう虫でなく人を殺すとすると事件だ。障害者施設殺傷事件というのがあった。犯人は刃物で入所者 19 人を刺殺した。戦後最悪の大量殺人事件。これはアメリカの事件でなく日本での話なのだ。恐るべき大量殺人として忘れられない事件のはずだ。わずか二年前のことだが、今やはるか遠い出来事で人々から忘れ去られている。というものの、実は私もすでに忘れていたのだ。なぜ思い出したかという、たまたまテレビを見ていたら、蚊を飼っていた少年（今は大学一年生）のニュースが流れていた。蚊を飼育して、蚊の生態を研究していた。蚊が血を吸うのは産卵のためなので、メスの蚊しか血を吸わない。オスは人をささな

いということなのだ。自分の腕の血を吸わせて実験していたそうだ。ここまでなら、たんなる虫好きの子ども、あるいは<変人>で終わる。ところが、この少年はただものではない。アメリカの超難関大学入試に合格した天才的頭脳の持ち主だそうだ。

私などは、蚊が腕にたかると、すかさずパチンと殺した。血を吸われる人間にすれば、吸われるとかゆくなるから、蚊を殺すのは当然なのだ。しかし、メスの蚊にすれば子孫の残すために血が必要なのだ。人間が憎くて、復讐のために襲うわけではない。人に対する敵意はゼロなのだ。殺意がなければ殺人罪にならないように、蚊は何らの悪意もなく、ただただ生存のために必要な行為として血を吸うだけのことなのだ。この少年（今は大学一年生）の研究の意図は、いつの日か、蚊が人間に殺されない社会、人間と蚊の共生できる自然界を創ることだそうだ。私から見れば、蚊はなんの役にも立たず、痒みを引き起こすだけの厄介者にすぎない。生きていようと死んでいようと関係ない。というよりも、いないほうがまだ。こんな厄介者が自然界にいるから、こちらが迷惑している。さっさと殺虫剤で自然界から消した方がいいと思っていた。ところが、この少年の発想はまったく違っていた。生きとし生けるものは全て生きる意味がある。殺生禁止の教えと似通ったところにいるのだ。

「津久井やまゆり園」で起こった相模原知的障害者の19人刺殺事件に戻ろう。戦後最悪の大量殺人事件の殺人犯はこの施設の元職員だった。やまゆり園が知的障害者の施設であり、入居者たちが知的障害者であることを承知の上で、この人たちを殺したという。社会に害を与える能力はゼロであり、社会から保護されて生きている人たちだ。このような無害な人たちを狙ってなぜ殺人を起こしたのか。殺人犯は精神異常者か。精神鑑定も行われた。殺人犯は殺人の意図を語り、現在も殺人行為の正当性を主張している。知的障害者は生きていてもなんの役にも立たず、無用の存在だ。この世から抹殺すべきなのだ。彼らは人としては無意味な存在なのだ。殺人でなく、無用な生き物を排除したに過ぎない、と自己の行動を正当化しているという。

この事件はナチスのユダヤ人絶滅計画を想起させしてしまう。生きとし生けるもの生命を大切にしようと、人だけでなく、蚊との共生を夢見てしまう、あの少年と対極にこの殺人者がいる。命の価値は役に立つかどうかによって決められてしまう。こういう冷酷な人が人間界にまだまだ存在するのだと世間は騒いだ。ところがなぜか急速にこの事件は忘れ去られた。殺された障害者の氏名は公表されなかった（被害者の親族からの要望もあったという）。もともと知的障害者で生まれたことを恥ずべきと思わせられた家族、親族の風潮が根底にある。恥ずべき存在という意識は障害者を世間から隔離、隠されて、やまゆり園のような施設内でひっそりと生きるように仕向けていたのではないか。もし、殺された人が友人、知人、親族などの知り合いで、日頃の付き合いがあったら、殺害者に対する怒りの感情はもっと強く長く続くはずだ。

でも、そのような関係はなくとも、これだけの殺人事件を忘れ去ってしまうほんとうの原因はどこにあるのだろうか。なんの役にも立たない人、無用な人、人間失格者と見なした人に対する差別の意識、あいつらは人間でないという意識が潜んでいたのではないだろうか。<あの役立たず奴>と思っていた人の死を知って、密かに喜んでいる自分はいないだろうか。これで厄介払いしたと思ったことはないだろうか。こういう人たちこそ、自分こそ益虫のてんとう虫を装うてんとうむしくだまし>ではないだろうか。<ヒト>であることを装うためには、人<だまし>が必要なのだ。どうも自分にもその気分があったようだ。あぶない、あぶない。あやうく、自分もてんとう虫だましになるところだった。生の尊さを忘れさせる最大の敵は<われ>にある。

山スキーの歴史

No.323 三浦良夫

スキーは数千年前に北欧で生れ、冬に平坦地を移動する生活手段として使われた。

19世紀末になって中欧アルプス地方で、冬季登山の手段として着目され、急斜面を滑り降りるアルペンスキーという新しい分野が生まれた。

日本には明治末期にオーストリア人のレルヒ少佐などによってスキーが紹介されている。

それが広まり、大正から昭和のはじめにかけて、長い眠りの中にあった冬の間々が、先駆的な人々のスキーによって開かれていった。昭和に入ると一般スキーヤーのスキー登山も盛んになった。

一方、アルペンスキーが普及するにつれ、旋回技術を楽しむゲレンデスキー化の傾向を強めていった。それを決定的にしたのがリフトの出現であった。日本最初のリフトは、昭和22年に志賀高原の丸池スキー場に、進駐軍がスキー大会を開催するため作られたものだが、接收解除後に日本人がこのリフトに自由に乗れるようになった。戦後の約30年間は、ゲレンデスキーが益々盛んになる一方、冬山登山の方法としての

スキーは一部の大学山岳部などで、細々と受け継がれていった。

長い空白期間を経て、昭和50年頃から登山とスキーというそれぞれ素敵なスポーツを組み合わせることによって、より素晴らしい世界が展開することが理解されてきた。また、西ドイツ製のジルブレッタという金具はビブラム登山靴でそのままスキーが履けるなど、道具の進化も拍車をかけた。

近年、「バックカントリースキー」がブームとなっている。原型は山岳活動の一形態としての「山スキー」であるが、認知度の上昇に伴い、一部の人にはバックカントリースキーは山岳活動の一形態ではなく、ゲレンデスキーの延長としてもとらえられるようになってきている。私もついつい飛ばしがちになるが、安全が最優先であると自戒しつつ山スキーを楽しみたい。



会報部員のひとこと

この夏、日本列島は異常な暑さにみまわれた。地球温暖化の影響もあるのだろう。最近、春スキーをできる期間が短くなってきたのを実感している。遠い将来、「山スキー」が死語になる日も来るのだろうか。

(良夫)

— 「ベコ谷地のワタスゲ」 —

東北・岩手に住む私たちには何の変哲もない名前ではあるが（若い人たちには聞きなれない？）、それゆえに却って何故？と思われる名前ではある。人里離れた奥地、歩いてしか行けない湿地帯、なのになぜ家畜である牛が地名になっているかわからないという。

ところは、秋田県鹿角市八幡平、御生掛温泉から澄川地熱発電所の間に位置する。

毛せん峠から焼山へ登り、蒸気を噴き上げている沢を廻り込みながらシャクナゲロードと勝手に名前を付けてルンルン進んだ目の前に現れたのが、なんと一面ワタスゲに覆われた（？）ベコ谷地だった。

その年の気候にもよると思われるが、シャクナゲの最盛期がワタスゲにも良いようだ。 秋の紅葉も良いという。

No.19 中村美栄子

あかげら 第357号

2018年8月22日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～